

一般質問

一般質問は市政全般について、市長など執行部の考え、方針などを質問することです。各議員の一般質問の中から一つ取りあげて要旨を掲載いたします。

駅前図書館について



柳澤 明 議員

質問 駅前に図書館を持つてきた理由は、新市庁舎との相乗効果による賑わいの創出だが、土浦市に一番適した運営形態とはどのようなものか伺います。

部長 教育 新図書館は、平成17年3月に、市民の利便性や中心市街地活性化への効果を踏まえ、土浦駅前北地区再開発事業においての整備が決定し、事業の中核施設とし

て位置付けられた。

新図書館は、基本計画で、これまでの読書支援に加えて、様々な利用者に向けたサービスを提供し、市民の幅広い利用と図書館活動の継続性を目指すこととした。

新図書館の整備方針は、市民の交流や学習活動の支援機能、人と情報をつなげるICT活用支援機能、図書館サービス網の中核的機能、豊富な資料群による直接サービス機能、高度で多様な要求に応える調査研究機能、保存図書館機能の6つの柱である。

また、集客施設としての機能を高めるため、整備方針に沿った上で、開館時間・日数の延長拡大や、カフェ等の設置も含めた居心地の良い空間デザイン、図書の貸出等の自動化による安心して利用できる環境の整備などを検討してまいりたい。

以上の整備方針に加え、再開発事業全体での連携を検討し、賑わいや交流を生み出すような整備を計画してまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

- ・賑わいの創造について
- ・公設市場の活用について

新市役所・図書館を核とする中心市街地活性化基本計画の直接的効果予測値について



柏村 忠志 議員

質問 中心市街地活性化基本計画の数値目標を具

部長 整備市 本計画では、4つの数値目標を立てており、1番目の中心市街地の歩行者交通量では、平成24年度に対し、平成30年度は、約17%の増加を目標値とし、約3億9千万円の経済効果を見込んでいる。

2番目の空き店舗については、50店舗の開業を目指しており、1億1千1百万円の経済効果や法人市民税300万円の増収が見込まれる。

3番目の中心市街地の居住人口では、481人の増加を見込んでおり、7億7千9百万円の消費支出となる。

4番目の観光関連施設利用者数では、4千453人の増加を

見込んでおり、312万円の経済効果が見込まれる。

その他、庁舎の整備や駅北再開発による経済効果や民間におけるまちなかへの住宅整備等の効果もあるが、計画をより実効性の高いものとするため、関係団体と連携を図ってまいりたい。

(掲載以外の質問事項)
・水道事業後期基本計画について
・都市公園のトイレについて

レセプト・健康情報等を活用したデータヘルスの推進について



平石 勝司 議員

質問 今年6月の日本再興戦略では、保健事業の実施等に関する指針を改正するとされており、自治体における積極的なデータヘルスの導入について伺います。

部長 福祉 保健 市民 市民 市民 データヘルスの推進について、国では加入者の医療や保険の情報を共有し、健康状況の把握や疾病別の医療費分析により、疾病予

防や早期発見を支援する保健事業を進めている。

国民健康保険の1人あたりの医療費は、平成23年度、全国平均30万3千円、県内平均26万2千円、本市は27万1千円、後期高齢者医療制度では、全国平均90万4千円、県内平均80万7千円、本市は81万8千円となっている。

茨城県国民健康保険団体連合会では、平成22年5月からレセプトが電子化され、レセプト点検作業の迅速化や効率化が図られている。

さらにデータの有効活用のため、各都道府県国民健康保険団体連合会及び国民健康保険中央会を通して、レセプトのデータを共同処理するシステムが平成26年6月稼働となる見込みで、本市もこのシステムを有効活用してまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

- ・ICT教育について
- ・駐車場案内システムの活用

